

平成29年 3月1日

上那賀中学校  
保護者の皆様へ

上那賀中学校長 谷 浩 行

春の風が快い季節となつてまいりました。保護者の皆様方にはご健勝のことと存じます。日頃は本校教育活動に多大のご支援ご協力ありがとうございます。

さて、2月に保護者の皆様と生徒に対してアンケート調査を行い、上那賀中学校の教育活動に対する満足度を調査いたしました。集計結果をもとに、平成28年度の学校評価をまとめましたのでお知らせいたします。

★ **調査内容** 次の10項目の質問に対して、次の4段階で回答をいただいた。

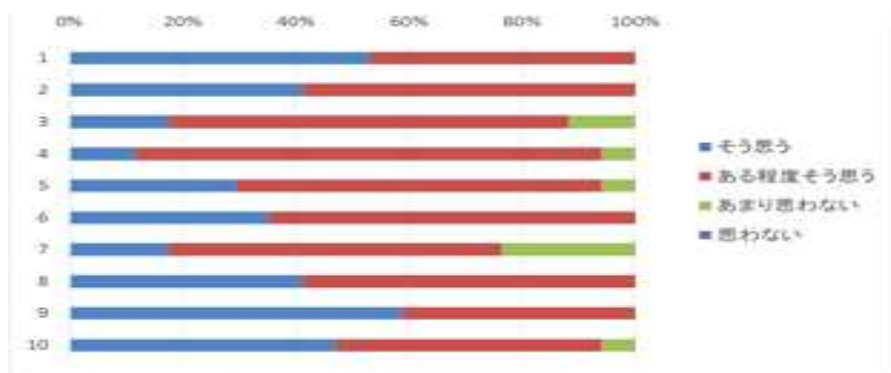
A そう思う B ある程度そう思う C あまり思わない D 思わない

- (1)校風・伝統を生かして、特色ある学校づくりがされている。
- (2)生徒や保護者・地域の方の要望を生かした学校行事が行われている。
- (3)生徒の進路や興味・関心に配慮した授業がなされている。
- (4)生徒の立場に立ったわかりやすい指導がされている。
- (5)教職員は個々の生徒の生活や学習の様子について気配りし、適切に注意や指導ができています。
- (6)一人一人に目を配り、いじめなどのない楽しい学級作りに配慮されている
- (7)生徒の能力・適正を生かすきめ細かい進路指導がされている。
- (8)学校行事や部活動を通して、生徒が自主的に活動し、個性が発揮できるような指導がされている。
- (9)生徒の健康・交通安全などに配慮された指導がされている。
- (10)学校や学年の様子について、上中だよりや学級通信などの配布物やホームページで情報提供がなされている。

## ★ **調査結果**

### A **保護者アンケート調査結果**

回収率 100%



全設問の肯定的回答と否定的回答の平均

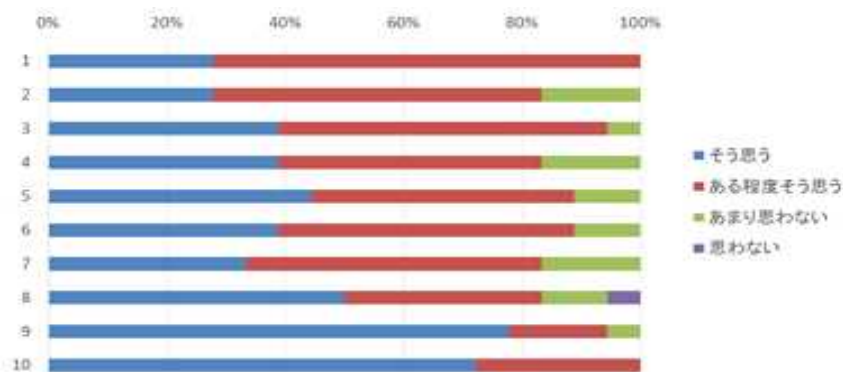
A 35.3% B 59.4% C 5.3% D 0%

## **考察**

- (1) 肯定率が設問7（生徒の能力や適正を生かすきめ細かい進路指導）以外の項目は80%を越え、平均が94.7%で昨年度より3.1%上昇した。90%を越えているのは、設問1（校風・伝統を生かした特色ある学校づくり）・設問2（生徒や保護者・地域の方の要望を生かした学校行事）・設問4（生徒の立場に立ったわかりやすい指導）・設問5（個々の生徒の生活や学習の様子に配慮した指導）・設問6（一人一人に配慮したいじめのない学級作り）・設問8（生徒が自主的に活動し、個性が発揮できるような指導）設問9（健康・交通安全などに配慮された指導）設問10（学校や学年の様子についての情報提供）の8項目であり、昨年度に比べ2項目増えた。また、特に設問2・設問8は、昨年の84%から100%に向上した。
- (2) 2年生では設問7（生徒の能力・適正を生かすきめ細かい進路指導）は、肯定率76.5%であり、生徒の肯定率も66.6%と低い。キャリア教育の視点に立ったきめ細かい進路指導の充実を図っていく必要がある。

## B 生徒アンケート調査結果

生徒アンケートは保護者アンケートの質問事項を少しわかりやすく表現を変え実施した。  
実施率 100 %



全設問の肯定的回答と否定的回答の平均

A 45.0 % B 45.0 % C 9.4 % D 0.6 %

### 考察

- (1) 全設問肯定率 80 % を越え、特に設問 1 (特色ある学校づくり)・設問 10 (学校や学年の様子についての情報提供) は 100% であり、地域社会に開かれた学校として機能していると考えられる。また、設問 3 (生徒の進路や興味・関心に配慮した授業)・設問 9 (生徒の健康・交通安全などに配慮された指導) は 90 % を越えている。設問 3 は昨年 89.3 % から 94.5 % に向上しているが、設問 4 (生徒の立場に立った分かりやすい指導) は、昨年 92.8 % から 83.3 % に下降している。肯定率 80 % を越えたことに満足することなく、下降の原因を一人一人の教師が考察し、楽しくてよくわかる授業作りに努めていかなければならない。設問 6 (いじめなどのない楽しい学級作り) は学校生活の基盤となるものであり、非常に重要な観点である。昨年 89.2 % で、今年は 88.9 % で大きな変化はない。毎日、安全・安心のもとで楽しい学校生活が送れていると考えられる。
- (2) 全設問肯定率 80 パーセントを越え、特に大きな問題はないと考えられるが、設問 1～設問 8 の 8 項目において A (そう思う) の割合は決して高くなく、平均して 30 % 程度である。今後においては A (そう思う) の割合を可能な限り高めていく努力が必要であると考えられる。
- (3) 学年の肯定率の平均は、2 年生 87.8 %、3 年生 92.2 % となっており、3 年生は上中の顔として校内・校外での活動を行い、やり終えた満足感があらわれているようである。2 年生には 3 年生を手本として、上那賀中学校最後の生徒としての誇りをもって、様々な活動への主体的な取組を期待したい。

### ★ 教職員による学校評価より

教職員は 1 学期末・2 学期末に詳しく自己評価を実施している。それをもとに、問題点を洗い出し、考察を重ね、次の学期により良い方向へと取組を行ってきた。特に次の項目について共通理解を図り取り組んできた。

- (1) 基本的な生活習慣を身につけさせる指導 (様々な場面におけるマナー・礼儀等)
- (2) 学習意欲を高め、個々の教育的ニーズに応じたわかりやすい授業の実施
- (3) 家庭学習の定着を図るための手立て
- (4) 人権の視点に立った教育活動の実施

### ★ 総括・おわりに

保護者 (94.7 %) 生徒 (90 %) と全設問に対して肯定的な評価が高く、おおむね平成 28 年度の上那賀中学校としての教育活動に成果があったと考えられる。家庭・地域・関係機関の協力を得て、少数の子どもたち一人一人を生かし、「地域とともに歩む学校」をめざして、教職員で取り組んできたことが成果として表れてきているのではないだろうか。そして、子どもたちと教職員が協働して様々な活動に取り組めた結果だと考える。しかし、改善しなければならないところもある。この結果に満足することなく、保護者や地域の意見を真摯に受け止め、生徒一人一人と向き合い、信頼関係を深め、よりわかりやすい授業やきめ細かな生徒指導を行わなければならない。そして、1 年後の休校に向い、将来を見据え、校訓「自ら鍛える」にもあるように自分を見つめ、自己に厳しく地道に努力を重ね、上那賀中卒業を誇りとし、たくましく生きていく力を育成しなければならない。今後はさらに、学校・学年便りやホームページ等を有効に活用し、保護者や地域の方々の意見を聞き「開かれた学校」づくりに取り組んでいきたい。

